

事業実績シート

1 事業の概要

協会事業名	<input type="checkbox"/> コミュニティ活性化支援事業 <input type="checkbox"/> 定住促進事業 <input type="checkbox"/> 地域特産品需要拡大支援事業 <input checked="" type="checkbox"/> 国際交流支援事業 <input type="checkbox"/> 長崎県防災航空隊常駐化支援事業			
自治体(団体)事業名	アルバカーキ市・サンディエゴ港市民友好訪問団派遣事業			
所管局部課	自治体(団体)名	所管部・課名	担当者名	連絡先(TEL)
	佐世保市	企画部 国際政策課	大山	0956-25-9647
事業期間	開始年	米国アルバカーキ市・サンディエゴ港 平成29年(単発)		
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他[]			
実施期間	市民訪問団派遣：平成29年10月12日(木)から平成29年10月19日(木)			
委託した場合の委託内容	委託先機関名		担当者名	連絡先(TEL)
	(委託内容)			
助成事業の目的 ※住民視点を踏まえて記載してください。	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)	
	佐世保市の市民(訪問団参加者)および米国姉妹都市の市民		アルバカーキ市およびサンディエゴ港地域住民と本市市民の深い理解と親善の深化をはかり、米国を含めた国際理解の促進、友好親善を推し進めるもの。	
助成事業の具体的内容 ※事業をまったく知らない人でも、事業の実施内容や実施方法の概要が分かるように入力してください。	本市の米国の姉妹都市ニューメキシコ州アルバカーキ市との姉妹都市提携50周年を記念するとともに、姉妹港であるカリフォルニア州サンディエゴ港との姉妹港提携35周年を記念して、佐世保市長を代表とする市民友好訪問団(総勢46名)を結成し、10月12日(木)～19日(木)の期間でそれぞれを訪問し、記念式典や行事に参加した。また、訪問団の一員として同行した民間交流団体が、現地の交流団体と共催して交流行事を開催し、民間交流を深めた。			
事業開始の背景、これまでの経緯及び現状	(事業開始の背景)			
	<p>佐世保市は、米国アルバカーキ市と昭和41年(1966年)11月に姉妹都市の提携を行った。平成28年(2016年)が50年目に当たり、アルバカーキ市からの市民訪問団の受入を行っていた。</p> <p>サンディエゴ港とは昭和57年(1982年)の10月に姉妹港提携し、平成29年が35周年目に当たっていた。</p> <p>米国への周年事業での派遣は、アルバカーキについては10年前の平成18年(2006年)に、姉妹都市提携40周年記念の派遣事業以来初めてであり、サンディエゴについても、平成24年(2012年)に姉妹港提携30周年記念の派遣事業以来初めてとなる。</p>			
(経緯・現状)				
<p>アルバカーキ市との交流事業は、現在は主に青少年交流事業が行われており、市民訪問団の派遣・受入は主として周年事業の一環として行われている。</p> <p>なお、近年アルバカーキ市との交流事業は、佐世保・アルバカーキ姉妹都市協会や佐世保日米協会など、市内の民間団体との共働により行うようになってきている。</p> <p>一方サンディエゴ港については、港同士の交流ということで、これまでは市民交流につながりにくかったが、民間レベルでの両港市民のつながりを活用して新たに「佐世保・サンディエゴ協会」が結成され今回の訪問団に参加、交流事業を実施した。今後の民間交流の拡大が期待される。</p>				

事業実績シート

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算					
事業費 (円)				13,537,160					
(財源内訳)	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他								
	市町振興共同事業助成金			7,206,000					
	一般財源			6,331,160					
成果(活動)指標	指標名		指標設定の考え方		単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	姉妹都市等の市民、行政関係者との交流人数	姉妹都市・姉妹港の市民達と直接会って交流することが、相互理解を深める契機となるため	人	目標				200
					実績				250
					目標達成率 (%)	%	%		125%
	②				目標				
					実績				
目標達成率 (%)									

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 公共性評価		必需 (+) 選択 (-)
	(公益性) <input checked="" type="checkbox"/> 広く社会に利益をもたらすサービス <input type="checkbox"/> 特定の個人又は集団のためのサービス <input type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	(必需性) <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠なサービス <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠ではないサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	
	(2) 行政関与の妥当性評価 妥当性低い (ー) 妥当性高い (+) 		(3) 廃止又は休止した場合の影響 (影響内容、程度等) 姉妹都市の市民と組織的かつ広範に交流することが困難となり、国際理解を深めていくことが難しくなる。

事業実績シート

4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果(活動)指標の達成状況		(左記結果となった理由)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標を下回った		姉妹都市・姉妹港の市民との相互理解を深めるため、積極的に、官民それぞれの主催で各種交流を行った。		
	(2) 成果(活動)指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地				
	<input type="checkbox"/> 工夫の余地はない <input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地がある	(工夫の内容・工夫の余地がない理由)			
	実施予定 日 平成 年度(次 年度以降 だが未 定)	前年に来訪されたアルバカーキ市を訪問することで、両市の絆が一層強固なものとなった。双方の民間団体が協働して交流行事を行うなど、民間交流の広まりや深まりが見られた。またサンディエゴ港でも官民それぞれの行事が盛会裏に終わった。今後それぞれの市港との交流においては、民間主体の交流事業の持続性と充実を図りたい。			
(3) 類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)			
<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はない					
効率性の点検	(1) 民間委託化等の妥当性評価		(具体的内容)		
	<input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない		既に市民団体の主導による共催化は一定実現している。今後は行事内容の充実度を挙げていくこととなる。		
	(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保				
	<input checked="" type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能 <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等での歳入確保は困難		民間団体が主体的に実施している部分については、民間団体自身が主たる負担者となっている。		

5 今後の方向性

必要性の点検から 実施(予定)時期	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了(完了)	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
有効性の点検から 実施予定時期	<input type="checkbox"/> サービス水準低下	<input type="checkbox"/> サービス水準向上	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
効率性の点検から 実施予定時期	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
具体的内容	<p>本事業は海外姉妹都市・港との周年事業の一環として実施したものである。前述のとおり、アルバカーキ市とは前年度の受入事業に引き続いての派遣であり、一連の相互交流により、両市民の絆は確固なものとなった。また、サンディエゴ港との民間交流については、新しい団体の結成と交流事業の実施により、民間交流の端緒を開くことができた。</p> <p>今後の交流のあり方としては、民間団体が主体となる交流に主軸を置き、継続的に交流を行うことを目指したい。そのためには、民間団体側においては、多くの市民を呼び込めるイベント企画の力とともに、担い手にかかる人的労力及び経済的負担が過重にならないような運営の力量が必要となってくる。行政としては、こうした民間交流団体の立場に立って各団体と連携し、必要な支援を積極的に行っていきたい。</p>				